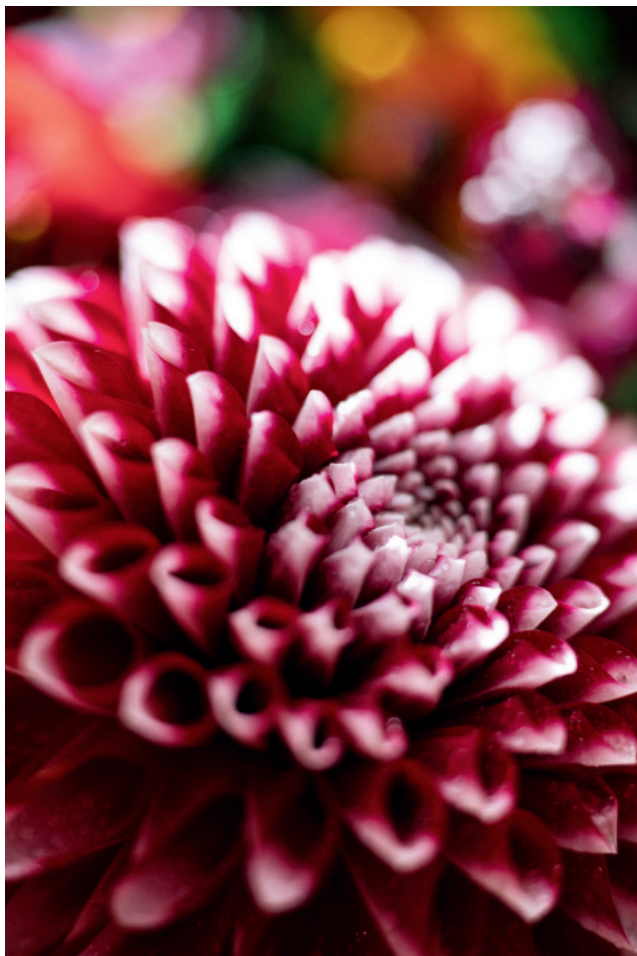


TAD Letter | 17



富山県美術館

Toyama Prefectural Museum of Art and Design

富山県美術館開館5周年記念 蜷川実花展

2022年3月19日(土)～5月15日(日)



「富山県美術館開館5周年記念 蜷川実花展」ポスター Design: 芝野健太

本展は、現代日本を代表する写真家・映画監督の蜷川実花の北陸最大級となる展覧会です。

蜷川実花は、色彩豊かで生命力に満ちた植物をとらえた写真や、被写体となる人物の本質に迫る魅力的なポートレート、ドラマチックな映像作品で、国内外の多くの人を魅了しています。また、写真を重要な表現手段としながらも、ファッションなどとのコラボレーションを含めた様々なジャンルへと表現活動を広げ、多岐にわたる活動を精力的に展開しています。

本展では、万物に宿る生命のリアルや「今」という時代を色鮮やかに映し出した「桜」シリーズなどの代表作や新作の写真を紹介するとともに、当館の空間を活かした映像によるインスタレーションなどを特別に発表します。夢のように美しくも儚く、そして希望に満ちた蜷川実花の世界をどうぞお楽しみください。

開催概要

開催時間	9:30～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	毎週水曜日、3月22日(4月28日・5月10日は無休)
会場	富山県美術館2階 展示室2、3、4
主催	富山県、蜷川実花展実行委員会(富山県美術館、北日本放送)
協力	ラッキースター、小山登美夫ギャラリー、NAGISO
特別協賛	アクタス富山
後援	北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局、北陸中日新聞
観覧料	一般1,400(1,200)円、大学生1,000(800)円、高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

関連イベント

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。



見どころ

| 展覧会紹介 |

01

富山県美術館でしかみられない「蛭川実花展」

蛭川実花が一番好きだという桜の写真を含め、代表作や新作の大型プリント写真をホワイトキューブの空間に展示。作家本人が作品を選出しレイアウトを熟考して生み出した、独特な空間となります。蛭川が一瞬のシャッターにおさめた対象の鮮やかな色彩、一瞬のきらめきや儚さは、コロナ禍を経た今だからこそ、より深く共感できるものかもしれません。

02

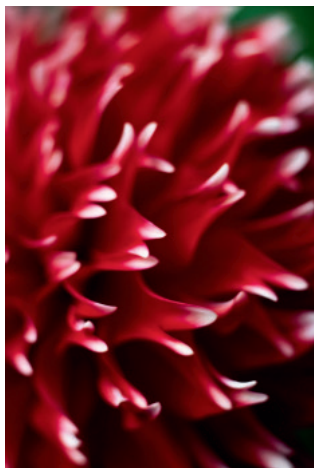
蛭川実花の世界に没入する映像インスタレーション初公開

写真と映画の間にある映像にこそ自分の今が表現できるのではないか、という考えのもと、館内で一番広い空間の展示室で、蛭川は映像インスタレーションの新作を発表します。本人の心象風景のようにも感じられる光あふれるやわらかな映像、時代の先端をゆくビビッドで実験的な映像等により、常に前進する蛭川実花の魅力をご紹介します。

03

お気に入りの作品をSNSで発信し、鑑賞後の気持ちを共有できます

壁面だけでなく床面も蛭川の出力写真で覆われた小部屋を設けます。蛭川実花展の魅力のひとつは鑑賞者ご自身がスマートフォンやカメラで、蛭川の作品空間を撮影できることです。記念写真を撮影する、SNSでその写真を発信するなど、能動的に鑑賞できます。[#蛭川実花展富山]のハッシュタグをご活用の上、撮影マナーを守ってお楽しみください。もちろん作品と対話するようにゆっくりとご鑑賞いただける空間もあります。



蛭川実花 Chromogenic Print

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

※都合により、掲載図版と展示作品が異なる場合があります。予めご了承ください。

富山県美術館開館5周年記念 宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022

2022年5月28日(土)～7月5日(火)



企画展「絵本原画の世界2022」ポスター Design:三木健

洋画家や日本画家、彫刻家、漫画家など幅広い分野の作家が毎月一つの物語を手掛けるという、画期的な絵本として1956年(昭和31年)に生まれた福音館書店の月刊絵本「こどものとも」。60年以上にわたって刊行を重ね、『ぐりとぐら』や『はじめてのおつかい』など誰もが知る名作絵本の数々を生み出してきました。

本展では「こどものとも」の草創期に関わる重要な作家や、「こどものとも」を契機に活躍した作家、当館にも作品が所蔵されている作家など、32作家の絵本原画約300点をご紹介します。かつて読んだことのある作品や、読んであげたことのある作品との再会、初めて目にする作品との出会いがあるかもしれません。

今では子どもから大人まで広く親しまれる日本の絵本原画の原点と歩みを、魅力あふれる原画の数々でお楽しみください。

出品作家

堀文子、松下紀久雄、山中春雄、太田大八、渡辺三郎、竹山博、朝倉摂、太田忠、池田龍雄、村田道紀、馬場のぼる、長新太、山本忠敬、串田孫一、山田三郎、三好碩也、土方久功、クロード岡本、山脇百合子、中谷千代子、村山知義、小野かおる、吉井忠、寺島龍一、水四澄子、中谷貞彦、齋藤真成、佐藤忠良、秋野不矩、西巻茅子、なかのひろたか、林明子、矢吹申彦、小出保子
※本展出品作の月刊「こどものとも」掲載順

開催概要

開館時間 9:30-18:00 (入館は17:30まで)
休館日 毎週水曜日
会場 富山県美術館2階 展示室2、3、4
主催 富山県美術館、富山新聞社、北國新聞社、チューリップテレビ
観覧料 一般900(700)円、大学生450(350)円、高校生以下無料、一般前売り700円
※()内は20名以上の団体料金

関連イベント

会期中のイベントの詳細は、当館ホームページやSNS等でお知らせします。

START☆2022

2022年5月28日(土)～7月5日(火)

学校^{スクール}(School)×富山^{とやま}(Toyama)×アート^{アート}(Art)＝“START”^{スタート}。富山県美術館では、子どもたちが「主役(STAR☆)」の展覧会を開催します。富山県内の小学校・中学校・高等学校から集まった個性あふれる作品を、今年からTADギャラリーに場所を変えて展示し、今までよりも、より多くみなさまに子どもたちが制作した作品をご覧いただければと思います。



| 出品校 |

富山市立水橋西部小学校・富山市立水橋中部小学校・富山市立水橋東部小学校 制作風景
【ワクワクの向こうに 明日が見える!】※3校は合同で1つのテーマの作品を出品します。



砺波市立出町中学校 制作風景
【輝け!「富山の自然・みんなの個性」】



富山県立高岡西高等学校 制作風景
【和】

開館時間 9:30-18:00 (入館は17:30まで)

休館日 毎週水曜日

会場 富山県美術館1階 TADギャラリー

主催 富山県、富山県教育委員会、富山県美術館

後援 富山県小学校長会、富山県中学校長会、富山県高等学校長協会、富山県特別支援学校長会

富山県私立中学高等学校協会、富山県小学校教育研究会、富山県中学校教育研究会

富山県高等学校教育研究会、富山県中学校文化連盟、富山県高等学校文化連盟、富山県特別支援学校文化連盟

観覧料 無料

| 開催概要 |



〔まるごとTADこども美術館〕とは？

美術館のあっちこっちで、お祭りパーティー!

お子さんと一緒に楽しめる企画展や、創作体験ができるアトリエワークショップ、

ホールでのアニメ上映会、ホワイエの子どもたちによる合唱会など、会期中ビッグイベントが盛りだくさん。

みんなで、アートを楽しんじゃおう!!

| 展覧会紹介 |

「トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション」展関連イベント 3館学芸員による リアル・トライアローグ

2021年12月5日(日)、3者による会談(鼎談)を意味する「トライアローグ」にちなみ、3館の担当学芸員によるトークイベントを開催しました。横浜美術館の松永真太郎氏、愛知県美術館の副田一穂氏に当館の碓井を加えた3名が「リアル」の場に集い、約1年をかけて巡回した本展を振り返りました。

3館のコレクションを集めて展覧会を企画した経緯や、「3」にちなんだ3章構成の展示、各館学芸員のイチオシ作品など、担当者ならではのこだわりや裏話が盛りだくさんの内容となりました。コロナ禍で海外から

の作品借用が困難となる昨今において、国内の各館のコレクションを見直す重要性を再確認する機会となりました。



キノ イグルー

Kino Igluプレゼンツ 大空間で映画鑑賞会

キノ・イグルーは、東京を拠点に全国各地の様々な空間で映画を上映している移動映画館です。12月11日(土)・12日(日)の閉館後、吹き抜けのある空間が特徴のホワイエを会場に映画鑑賞会を行いました。11日は佐藤雅彦監督による短編集『kino』(1998年)、12日は杉井ギサブロー監督によるアニメーション『銀河鉄道の夜』(1985年)、また2日間とも同時上映として短編アニメーションの『オーレ・エクセル インモーション』(2013年)をお楽しみいただきました。いずれも当館のために選ばれた、動画配信等もないレアな映画ばかりです。当日は、キノ・イグルーの

有坂壘氏と渡辺順也氏による作品紹介もあり、映画をより深く味わう機会となりました。



ビー ウォーター BE WATER



作品制作風景



県内リサーチ画像 (場所: 東山円筒分水槽) ※管理者の許可を得て撮影しています。

アーティスト@TADは、国内外で活躍するアーティストを富山県美術館(TAD)に招き、滞在制作やワークショップ、作品展示を行う作家滞在型の企画です。第5回目となる今回は、アーティストの土谷享(Kosuge1-16)と映画監督の大澤未来、ガスパール・クエントの3人組ユニット「ビー・ウォーター・エクスペリメント」を迎え、大規模インスタレーション展示を行います。

展覧会「BE WATER」は、作家たちが富山の水循環に着目し、映像と立体作品を組み合わせ、TADギャラリー全体を使って表現するものです。その活動は、富山県の人々が、これまで地形や気候に対してどのように治水を行ってきたかのリサーチから始まりました。取材地は、残雪期の室堂や東山円

筒分水槽、宇奈月ダム、氷見や魚津の博物館などで、東西を問わず富山県の歴史文化について情報を集めました。その上で作家たちは、立山連峰に降り積もる雪から富山湾に注ぐまでの水と、その水をコントロールするための巨大な人工物の接点を、水の視点から体験型インスタレーションとして描き出そうとします。

会期初日の3月27日(日)には、ワークショップ「ビデオカメラを使って〇〇になろう」を開催し、その成果物を展示する参加者の作品コーナーを設けますので、作家と県民の共同展示となります。富山県内の方にはなじみ深い水を取り巻く環境を、作家が捉えなおした視点により、普段とは違う一面からお楽しみください。

ギャラリー展示

EVENT
01

日 時 2022年3月27日(日)~5月8日(日) 9:30~18:00
会 場 1階TADギャラリー 入場無料
休 館 日 毎週水曜日、祝日の翌日(4月28日~5月10日は無休)

ワークショップ「ビデオカメラを使って〇〇になろう」

EVENT
02

小型カメラで人間以外の〇〇から見える世界を想像し動画を撮影、編集します。

日 時 2022年3月27日(日) 13:00~17:00

※申込受付は終了しています。

※成果物は、ギャラリー展示の参加者の作品コーナーにてご覧いただけます。

公開制作

EVENT
03

日 時 2022年3月24日(木)~26日(土) 9:30~18:00

会 場 1階TADギャラリー

※制作内容によりご覧いただけない時間もございます。ご了承ください。

| 関連イベント |

文字からのイマジネーション

仲條正義

1993年

紙・オフセット

103.0×72.8cm

発行：株式会社モリサワ

©Masayoshi Nakajo



文字を含む視覚表現の醍醐味を鑑賞できるのがポスターだ。富山県美術館のポスターコレクションから、仲條正義の作品に目を向けてみたい。

仲條は1933年東京生まれ、資生堂宣伝部、河野鷹思が設立したデスカを経て1961年に自身の事務所を立ち上げた。資生堂の企業文化誌『花椿』のアートディレクションに40年以上関わったことでも知られる。作品を毎年個展で披露する活動も精力的に続けていたが、2021年秋に他界、慕っていた多くのデザイナー達から深く悼まれた。

本作品は写真植字のモリサワによる『たて組ヨコ組』の創刊10周年を記念し、1993年に41作家に依頼された「文字からのイマジネーション」をテーマとする作品のひとつ。「ふじ」「WISTARIA」の文字と花々の色、宙に浮くような藤棚の表現も仲條らしい。

作品に関して本人が記した文章が残されている。

「今まで日本的テーマを避けてきたが、最近花札12ヶ月の12枚組の皿のデザインをして、それに魅せられた。伝統の模様の知識もないのに強引に仕上げてしまった。そのうちのひとつ藤の花を選んで今回の作品にした。陶器の上での作画は、材質とそのわずかな曲面を持つ余

白に悩まされた。それを平面の印刷物に置きかえたとその条件が逆目に出て、手こずってしまった。これを機会に、正しい日本人に立ち返りたいと思っている」※

「手を動かし自分で見つけられることほど面白いことはない」と述べていた作家の姿勢がこの一文からうかがえるだろう。仲條作品の真骨頂は、手描きによる大胆な造形と独自の色づかい、紙面に広がる独自の空間性。知的なユーモアに加えて見え隠れする温かさは江戸前の情か。粋な色気も漂う。完璧さよりも型にはまらぬことを旨とする活動は、洒落心を忘れることなく貫かれた。

「しっかりと踏み固められた伝統があり、そのうえで新しさというものは成り立っているんです」

そう語ってくれたのは、5年ほど前のこと。

「さじ加減という甘いものでは踏み固められてきたものの魅力には到底追いつけない。ドーンとね、やらなきゃならないんです。でないとな野暮になる」

時代が変わってもグラフィックの「密度」は重要、その密度を表現できるのがポスターであるとも考えていた。挑戦し続けた生涯が、作品から鮮やかに浮かびあがる。

(富山県美術館デザイン・ディレクター 川上典李子)

※『たて組ヨコ組』創刊10周年記念特別号 特集：文字からのイマジネーション』（株式会社モリサワ、1993年）P.28

富山県美術館 (TAD)

〒930-0806 富山県富山市木場町 3-20 (富岩運河環水公園内)

TEL 076-431-2711 FAX 076-431-2712 <https://tad-toyama.jp/>

発行日 2022年3月18日

表紙：蜷川実花《タイトル未定》2021年 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery